

第4章 「交野の歴史文化」の保存と活用に関する基本理念と方向性

4-1. 基本理念

「交野の歴史文化」とは、「交野の文化財」とそれを取りまく「周辺環境」を一体的・総合的にとらえ、本計画において保存・活用の対象とするものです。これは、豊かな「交野の自然」を背景にした先人の活動の賜物^{たまもの}です。また、「交野の歴史文化」は、交野市民のアイデンティティや、交野のまちに対する愛着心を育むものであり、それにより、本市独自の魅力が醸成され、地域の活性化や観光振興にもつながる可能性もあります。

本市では、市民憲章「和（自然と・文化と・人と）」の精神のもと、「総合計画基本構想」を通じて、「教育大綱」及び「生涯学習基本計画」



小学生の文化財見学（交野市立教育文化会館）

の基本方針の一つとして「自然と歴史を通じたまちの発見」を掲げ、第2章で示したとおり、これまで「交野の歴史文化」の保存と活用に取り組んできました。

しかしながら、これまで文化財の保存を担ってきた住民・地域コミュニティ組織の高齢化や、新興住宅地の増加に伴う新たな住民の流入により、「交野の歴史文化」の置かれる状況は急速に変化しつつあります。そうした中で、現在の子どもたちが「交野の歴史文化」を継承の次世代の担い手となることが期待されますが、「交野の歴史文化」の教育普及に関する取組みは、現在のところ、市内の小学校3・4年生を対象とした体験学習・学習支援に限定されています。

そこで、「教育大綱」及び「生涯学習基本計画」の基本方針「自然と歴史を通じたまちの発見」をふまえ、「交野の歴史文化」を適切に保存・活用し、将来へ継承していくために、本計画の基本理念を『残して、活かそう交野の歴史文化、つながろう未来、次世代へ』と設定し、本計画を推進することとします。

4-2. 本計画の方向性

上位計画との整合を図るため、「教育大綱」と「生涯学習基本計画」の基本方針を受けた文化財に関する2つの施策目標から本計画の方向性を定めます。

1つ目の方向性は『交野の歴史文化の発見と発信』です。「交野の歴史文化資源について、市の内外に発信するとともに、市民自身が魅力を再発見し、交野への愛着・誇りを育むことができる学習機会を提供」することを目指すものです。このためには、「交野の歴史文化」を把握するとともに、周知啓発を推進することも重要になります。

2つ目の方向性は『交野の文化財・伝統文化の継承』です。「文化財の公開や学習機会の提供を通じて、文化財や伝統文化について、市民の理解・関心を育み、それらの継承に繋いで」いくことを目指すもので、継承のために、「交野の歴史文化」を確実に保存・活用するとともに、体制を整えることが求められます。

この2つの方向性にもとづき本計画を推進します。基本理念と2つの方向性にもとづき、未来へ確実

に「交野の歴史文化」を継承するためには、「交野の歴史文化」を的確に把握し、保存し、活用するとともに、広く周知・啓発していくこと、何よりも「交野の歴史文化」を保存・活用していくための人づくり・しくみづくりの体制を確立していくことが必要になります。そこで、第2章で「交野の歴史文化」に関する取組みの現状を整理した際に用いた①把握、②保存、③活用、④周知・啓発、⑤保存・活用のための人づくり・しくみづくりの5つの視点をもって課題抽出を行い、基本方針を定めることとします。

また、「交野の歴史文化」を確実に保存し、未来へつなぐためには、第3章で抽出した「交野の歴史文化」の6つの特色を活用するとともに、より広く周知・啓発していくことが必要と考えます。これによって、市民や文化財関係団体に加え、次世代の担い手となる子どもたちの興味・関心を引き起こし、将来に向けての人づくり・しくみづくりのきっかけとしたいと考えます。

- ・[市民憲章] 和（自然と・文化と・人と）
- ・[第5次交野市総合計画] まちづくり目標5 「みんなで自然と文化を慈しみ、次世代に引き継いでいくまち」
- ・[教育大綱・生涯学習基本計画] 基本方針4 「自然と歴史を通じたまちの発見」



交野市文化財保存活用地域計画の基本理念



残して、活かそう交野の歴史文化、
つなごう未来、次世代へ



方向性1)

【交野の歴史文化の発見と発信】

方向性2)

【交野の文化財・伝統文化の継承】



課題抽出の5つの視点

1 「交野の歴史文化」の把握

2 「交野の歴史文化」の保存

3 「交野の歴史文化」の活用

4 「交野の歴史文化」の周知・啓発

5 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり